

社会福祉法人 日本点字図書館

# 感謝録

2021 年 7 月

数多くのご支援に感謝いたします。



コロナ禍のなか、感染予防対策を行いながらサービスを継続しました

# 感謝の言葉

社会福祉法人 日本点字図書館

理事長 田中 徹二



今年も感謝録をお届けする時期になりました。この冊子は、当館が多くの皆様からご支援いただいていることの「証」です。日ごろからのご厚志に心から感謝申し上げます。

昨年の感謝録には、新型コロナウイルスの影響によって社会情勢が一変したことを記しました。コロナ禍の中で、当館も対応にたいへん苦慮しました。その最大の悩みは、収入の減少です。当館の財政の約6割は、公益事業である視覚障害者用具の売上や、点字資料製作の受注などに頼っています。当初あまりにも大きな減収に、年収がどこまで落ち込むかと恐怖すら感じましたが、数か月もすればコロナ禍は落ち着き、元にもどるとばかり思っていました。また11月10日に予定していた創立80周年記念行事では、多くの皆様に直接感謝を申し上げることができると考えていました。それが実現できなくなったばかりか、今にいたっても3度目の緊急事態宣言が出る状況です。

こうした中でも、皆様より例年と変わりなくご支援いただけたことと、思いがけずご遺贈など特別なご寄付も頂戴できたことにより、基金を取り崩すことなく決算を迎えることが出来ました。何とお礼申し上げてよいかわかりません。

しかし、今年度もいまだ感染力の強い変異ウイルスが増え続けており、経営は予断を許さない状況ではあります。感染者を出さぬよう職員一同いっそう気を引き締め、ご支援いただきました皆様のご厚志に応えるためにも、引き続きサービスの継続と充実に邁進いたします。

このような状況をご理解いただき、例年にましてのご協力、ご鞭撻を切にお願い申し上げます。

## 2020年度事業のあらまし

館 長 長岡 英司



2020年度は、新型コロナウイルスの感染拡大のために、社会全体が甚大な損失を被りました。当館も、すべての事業で、感染を防ぐための対策を優先しなければならない状況が続き、利用者や支援者の皆様にご不便とご迷惑をおかけしました。

そうした厳しい状況の中で、各事業は、サービスの質や量の可能な限りの維持に努めました。図書貸出事業では、緊急事態宣言下に、在宅勤務の導入でスタッフの数を減らさざるを得なかったことに伴い、1回にリクエストできる図書の数の制限を強化するなどの対策をとりましたが、貸出を全面的に停止した公共図書館や点字図書館が多かった中で当館は基本的なサービスを維持したことから、「貸出を続けてくれてありがたい」という好意的な評価をいただきました。

図書製作事業では、点訳者・朗読者等の皆様とスタッフの感染防止を最優先しながら業務に取り組みました。点字製作課では、校正作業の環境が密になる場合があることから、一部を在宅作業に切り替えるとともに、読み合わせ校正を行う2人のペアが通常よりも互いに離れて座るなどの対策をとりました。録音製作課では、録音スタジオに消毒の体制と飛沫感染防止の対策を速やかに整えたほか、対面リーディングサービスに、別室に分かれた朗読者と利用者がオンラインで結ばれた端末を介して相対するという新たな方式を導入しました。また、録音雑誌は、電話やオンラインでの収録、在宅勤務での編集などの製作方法を取り入れて、休刊することなく発行を続けました。

2020年度は、用具販売、自立支援、「ふれる博物館」などのその他の事業も含め、コロナ禍の影響一色に染まりました。そのために、ほとんどの事業で実績が低迷しましたが、厳しい状況の中でサービスの維持に努めた経験は、様々な意味で大変に貴重だったともいえます。それを支えてくださった皆様のお力添えに、ここに改めて深く感謝申し上げます。各事業の実績につきましては、次ページ以降をご参照ください。

# 2020 年度 事業の実績

## 図書情報サービス

---

利用登録数：個人 12,521 名、団体 599 団体

新規収蔵図書数：点字図書 614 タイトル、録音図書 661 タイトル

蔵書総数：点字図書 22,636 タイトル (83,167 冊)

録音図書 23,915 タイトル (52,322 巻)

貸出数：点字図書 6,297 タイトル (22,660 冊)、録音図書 94,582 タイトル

ダウンロード提供数：点字図書 1,115 タイトル、録音図書 72,177 タイトル

専門対面リーディングサービス利用実績：延べ 72 人、144 時間

レファレンス：視覚障害者図書情報提供 69,662 件

## 図書製作事業

---

製作数：点字図書 163 タイトル (664 冊)、音声デイジー図書 368 タイトル (2,834 時間) テキストデイジー図書 400 タイトル、マルチメディアデイジー図書 6 タイトル (12 時間)

月刊録音雑誌「**ってんデイジーマガジン**」を 72,068 枚配布

ボランティア数：点訳ボランティア 64 名、朗読ボランティア 49 名

デイジー編集ボランティア 13 名、テキストデイジー編集ボランティア 44 名

録音図書ネットワーク製作システム参加ボランティア 95 名

クラウドソーシング型図書校正参加ボランティア 557 名

## 視覚障害者用具の販売あつ旋

---

年間取扱点数：912 種、69,772 点

新規取扱商品：ルービックキューブユニバーサルデザイン、セイコー触読式腕時計メンズ・レディース、点字ラベラー BL-1000 LINK、ソニー ワンセグラジオ充電器セット、拡大読書器コンパクト 10 スピーチ、音声読書器スマートリーダー HD、理科点字表記解説、点訳例文集 新版

## 厚生労働省委託・補助事業

---

〔視覚障害者用図書事業〕

点字図書：30 タイトル (6,300 冊) 製作、延べ 349 タイトル (1,247 冊) 貸出

録音図書：音声デイジー図書 15 タイトル、マルチメディアデイジー図書 6 タイトル製作、延べ 841 タイトル貸出

〔盲人用具の販売あつ旋〕

盲人用具 14 種、15,864 点

〔サピエ図書館の運営 (視覚障害者用図書情報等ネットワーク運営事業)〕

会員数：個人会員 18,559 人、施設・団体会員 419 団体

提供数：

- ・点字データ 231,937 タイトル
- ・音声デイジーデータ 102,571 タイトル
- ・テキストデイジーデータ 10,639 タイトル
- ・マルチメディアデイジーデータ 350 タイトル
- ・目録 1,168,942 タイトル

利用数：

- ・点字データ 延べ 606,570 タイトル
- ・音声デイジーデータ 延べ 3,838,925 タイトル
- ・テキストデイジーデータ 延べ 349,524 タイトル
- ・マルチメディアデイジーデータ 延べ 6,530 タイトル
- ・目録検索 3,476,811 件
- ・オンラインリクエスト 297,589 件

その他、全国の点字・公共図書館等に 69,662 件の情報を提供しました。

## 自立支援事業

---

相談支援：基本相談 254 件、計画相談 93 件

自立訓練（機能訓練）：実人数 51 人、延べ回数 1,319 回

医療機関に向いての相談会：6 回

## 東京都委託事業

---

[点字図書の製作・貸出]

・点字図書：49 タイトル（324 冊）製作、延べ 266 タイトル（1,028 冊）貸出

[声の図書の製作・貸出]

・声の図書：70 タイトル（350 枚）製作、延べ 3,373 タイトル（3,386 枚）貸出

[視覚障害者用図書レファレンスサービス]

・都内の視覚障害者、施設団体に対し 35,042 件の情報提供

[希望図書の製作]

・個人の希望する点字図書：81 人・118 件、声の図書：111 人・155 件

## 海外支援事業

---

コロナウイルス感染拡大により実施しませんでした。

## 本部事業

---

[ふれる博物館]

・第 6 回企画展「日本点字図書館と触図の試み」

(協力 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所、自然科学研究機構国立天文台、株式会社ジェイ・ティー・アール、ケージーエス株式会社)

2020年7月15日(水)～9月30日(水) 来場者数142人

・第7回企画展「創立80周年記念企画 日本点字図書館の歴史にふれる」

(協力 株式会社昭和書体)

2020年11月11日(水)～11月25日(水)(7日間、本館会場)、12月2日

(水)～2021年4月17日(土)(当年度47日間)、来場者数：当年度88人

[視覚障害者関係墨字資料(奥村文庫)]

文化庁より著作権法第31条の図書館資料の複製が認められる施設に指定され、新たに複写サービスを開始しました。

新規収蔵824点、利用688件、複写サービス139枚

## チャリティ公演

---

[チャリティ映画会]

秋の映画会「あの日のオルガン」

2020年9月17日(木) なかのZERO大ホール 来場者203名

春の映画会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止しました。

[チャリティコンサート]

第18回本間一夫記念日本点字図書館チャリティコンサート「クアルテット・アルモニコ演奏会」

2021年2月21日(日) 東京文化会館小ホール 来場者250名

川崎市視覚障害者情報文化センター(設置：川崎市/指定管理事業者：日本点字図書館)

- ・利用登録者数：482名、293団体
- ・蔵書数：点字図書3,289タイトル(11,873冊)、録音図書6,185タイトル
- ・貸出数：点字図書339タイトル、録音図書10,444タイトル
- ・ダウンロード提供数：録音図書3,859タイトル
- ・図書製作：点字図書49タイトル、音声デジタイズ図書101タイトル、テキストデジタイズ図書3タイトル、シネマ・デジタイズ/音声ガイド25タイトル
- ・訓練事業：生活訓練7名、歩行訓練8名、パソコン訓練10名、ICT訓練2名
- ・用具の展示と販売紹介：展示点数345点、販売紹介点数1,087点
- ・イベントの開催：講談会、音声ガイド付きDVD映画体験上映会、ヨガ教室 他

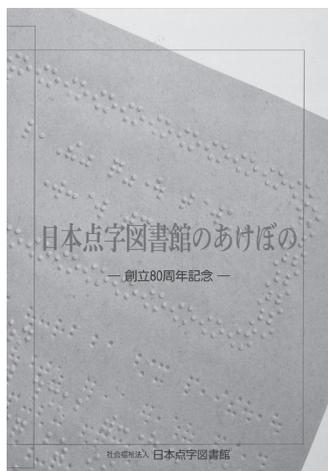
## 創立 80 周年記念誌を発行しました

創立 80 周年を記念し、2 冊の冊子を発行しました。

一冊は『日本点字図書館のあけぼの』（日本児童教育振興財団助成）です。2015 年、創立者本間一夫の生誕百年を記念して発行した『本間一夫と日本盲人図書館』以降の研究成果と、新たに発見された資料の紹介をしております。引き続き立花明彦静岡県立大学短期大学部教授と西脇智子実践女子大学短期大学部准教授に研究いただき、創立当時の本間の日誌、あるいは点訳奉仕者宛に出していた「点訳通信」から読み取れる当館の姿、戦中・戦後の点訳奉仕者の活動、資金難の中で大手出版社からの原本を寄贈いただいた記録などを紹介し、また著作権者からの許諾返信もこの機会に公開しています。

もう一冊は、『プロGRESS 明日のサービスを築いた十年 2010 - 2020』です。こちらは 10 年前に発行しました創立 70 周年記念誌『新たな世紀、新たなサービス』以降、約 10 年間に当館が新しく始めた事業を中心にまとめた記録です。国の補助金を受けて当館がシステム管理する視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」の開始とそれに伴うサービスの新たな展開、電子書籍の製作とサービス提供、自立支援事業の開始、川崎市視覚障害者情報文化センターの指定管理受託、ふれる博物館の開設、施設開放イベントの実施等々の記録をまとめています。

当館ホームページの創立 80 周年記念特設ページにて公開しておりますので、ご覧いただければ幸いです。



# 故塩見佑子様ご遺贈による事業完了のご報告

2018年9月に当館元職員の故塩見佑子様より1千万円のご遺贈を頂戴いたしました。塩見様は、当館在職中に録音図書製作に携わっておられたこと、離職後も録音図書の製作を気にされていらしたことに鑑み検討を重ねた結果、録音図書製作事業で課題となっていた次の3点に決定し、2020年8月にすべての整備が完了いたしましたことご報告申し上げます。

## 1. インターネット録音図書製作システム（びぶりお工房）の改修

当館の録音図書製作事業は、1958年から始まりましたが、長年にわたり、朗読奉仕者の皆様にご来館いただき、スタジオ等で録音していただく方式で製作を続けてきました。しかし、コンピュータ技術の進展に伴い、2005年からはインターネット回線を使い、自宅で録音・校正をして録音図書を製作する「びぶりお工房」という仕組みを導入いたしました。導入後15年以上経過し、古いインターネット技術に依存しているため、Windows10に移行しての不具合が多々発生するようになってきており、システムを今日のインターネット技術に即して改修することが必須の課題になっておりました。今回、事業の概要や現システムの基本要件は維持したまま、Google Chrome、Firefox等の新しいブラウザに対応できるための改修などを行わせていただきました。このことにより、新しいブラウザに対応することができ、ボランティアの方々をご自宅で安全かつ効率的に録音作業を行えるようになりました。

## 2. 録音図書の保存用サーバの更新

録音図書の製作方法は、テープレコーダから近年ではパソコンを利用する方法に変化していますが、音声データの保存方法も、カセットテープやMOディスクなどからサーバに進化しました。サーバは、当館の録音図書がすべて保存されている大変重要な保管場所です。従来使用してきたサーバも使用年数がかさみ、修理部品も手に入りづらくなり、老朽化が深刻となったために、大きな容量のサーバに変更させていただきました。

## 3. 貸出用録音図書の複製機（CD/DVDデュプリケータ）の更新

録音図書は、朗読奉仕者に朗読していただいたデータをインターネットで配信する方法と、CDに複製したものを貸し出す方法があります。すべての利用者がインターネットを利用できるわけではないので、CDという媒体を製作することは重要になります。当館では、CDの製作量が多いために、一度に多く複製できる機械の存在は大変重要であり、このたび新規の機械を3台整備させていただきましたことは、業務の効率化につながりました。

## ◆◆ ご寄付へのお礼とご報告 ◆◆

2020年度は、皆様から以下の通りご厚志を賜りました。

総件数            8,448 件    (前年度            8,089 件)  
 総額            139,034,723 円    (前年度    106,247,679 円)

その内訳をご報告いたします。

3,000 円未満	597 件	10 万円以上 50 万円未満	127 件
3,000 円以上 5,000 円未満	2,654 件	50 万円以上 100 万円未満	6 件
5,000 円以上 1 万円未満	2,255 件	100 万円以上	19 件
1 万円以上 10 万円未満	2,790 件	合 計	8,448 件

2020 年度も、篤志ある皆様のご協力により、多額のご寄付を頂戴いたしました。心より感謝申し上げます。

ご厚志をお寄せくださいました皆様、本当にありがとうございました。

このうち、4 件はご遺贈として頂戴いたしました。謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族ならびに関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

## ◆◆ 募金箱設置にご協力いただいた企業・団体 ◆◆

募金箱設置にご協力いただきました企業・団体のお名前です。13 団体の皆様から、合計 151,238 円のご協力を頂戴いたしました。

団 体 名	(五十音順)
朝日信用金庫	カラオケ館高田馬場 2 号店
医療法人湘山会 眼科三宅病院	キリンシティ高田馬場店
植松医院	国稀酒造株式会社 代表取締役社長 林 真二
オリンピック眼科病院	林歯科医院
柿島屋	文右衛門そば
カモシカスポーツ	有限会社豊商事 与志乃
カラオケ館高田馬場店	

## ◆◆ 愛の CD・DVD・ポストカード運動へのご支援 ◆◆

当館では、書き損じはがきや未使用のはがき、ご不要になった市販の音楽 CD や DVD をご寄贈いただいております。はがきは郵便局で切手に交換して日常業務に不可欠な通信費の一部に、CD・DVD は中古店に買い取っていただき売り上げを運営資金に、それぞれ充当させていただいております。

2020 年度は 100 人・6 団体様からご寄贈いただき、書き損じはがきから切手への引き換え金額は 141,505 円、CD・DVD の買取金額は 25,119 円になりました。

## ◆◆ ご寄付いただいた主な企業・団体 ◆◆

当館にご寄付いただきました主な企業・団体のお名前です。575 団体の皆様から、合計 13,906,125 円のご協力を頂戴しました。紙面の都合上、ご協力いただきました企業・団体すべてを掲載できず、申し訳ございません。全団体は、当館ホームページにてご覧いただけます。

団 体 名		(五十音順)
ALLIANCE GATE 株式会社	真宗大谷派開明寺	
イオンクレジットサービス株式会社	全国友の会	
一般財団法人報国積善会	立花歯科医院	
一般社団法人全国銀行協会	つながる募金	
一般社団法人全国信用組合中央協会	東京 I ゾンタクラブ	
医療法人社団雄飛会平岡眼科医院	ニシフミート株式会社	
圓通寺	P F U 労働組合	
神奈川県眼科医会	みこころの点字会	
株式会社エルエッチエス	三菱商事株式会社	
株式会社偕成社	三菱食品株式会社	
株式会社高島屋友の会	三菱電機株式会社	
株式会社 TAKARA & COMPANY	柳川特許事務所	
株式会社日立ビルシステム	有限会社 F o r Y o u	
河和田屋印刷株式会社	有限会社ヤマニ大門	
サイズエリア株式会社	有限会社菱和興産	
地福寺	リネットジャパングループ株式会社	
宗教法人真福寺	朗読ボランティア「櫻の実会」	

## ◆◆ 株式会社高島屋友の会からのご支援 ◆◆

タカシマヤ友の会会員様より昨年度 251,670 円 (8,389 口) のご支援を賜りました。タカシマヤ友の会では満期時に「粗品」もしくは「チャリティ団体への寄付」が選べます。この 2020 年度・2021 年度のチャリティ団体に選んでいただきました。会報誌をご覧になったから、直接お問い合わせをいただくなど、多くの皆様に当館をお知りいただくことができました。

## ◆◆ 企業・団体のボランティアのご協力 ◆◆

C S R の一環として、次の企業の社員の皆様には、お昼休みを利用したボランティア活動で、用具事業課で使用する点字シールや、再生紙を利用した封筒作製にご協力いただきました。心より感謝申し上げます。

東京海上日動安心 110 番株式会社、東京海上日動調査サービス株式会社、三菱鉱石輸送株式会社、三菱商事株式会社、三菱食品株式会社

## ◆◆ ワンブック・プレゼント運動へのご支援 ◆◆

多くの企業・団体と個人の皆様からワンブック・プレゼント運動にご支援いただきました。この運動は、一口10万円単位のご寄付を点字図書・録音図書の製作費用に充てさせていただくものです。完成した図書には、ご寄付くださった企業・団体・個人の方のお名前やメッセージなどを表示して、利用される読者の方に皆様のご支援の一端をお伝えいたします。

点字図書		録音図書	
協力者	口数	協力者	口数
株式会社イオン銀行	17	株式会社イオン銀行	21
共同印刷株式会社	3	有限会社東洋スポーツ	8
匿名	2	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	5
株式会社サンセイランディック	1	はんだこどもクリニック	5
柴崎タイ	1	一般財団法人春めき財団	3
点訳きつつき	1	ハウス食品労働組合	3
馬場康子	1	岩瀬愛子	2
		株式会社日立ビルシステム	2
		下野恵子	2
		匿名	2
		株式会社サンセイランディック	1
		株式会社ニデック	1
		清水由美	1
		田中陽一	1
		依田健三	1
		匿名	1
		匿名	1
		匿名	1
点字図書 合計 7件	26口	録音図書 合計 18件	61口
点字図書、デージー図書 総計 87口			

## ◆◆ 消毒薬・マスク等のご支援 ◆◆

コロナ禍において、感染防止に追われる中、東亜ディーケーケー株式会社、特定非営利法人難民を助ける会、公益社団法人24時間テレビチャリティー委員会、白山印刷株式会社、他個人の方から、消毒薬・マスク・フェイスシールド等を頂戴いたしました。

入手困難な時期のあったため、大変ありがたく頂戴し活用させていただきました。皆様のご支援に心より御礼申し上げます。

## ❖❖ 企業や団体からのご助成 ❖❖

企業・団体名	金額 (円)	助成内容
イオンリテール株式会社	40,900	「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」による助成
株式会社岩波書店	240,000	岩波新書等の録音版の製作・貸出
一般財団法人 NHK サービスセンター	2,000,000	点字版「NHK ウィークリーガイド」の製作・頒布
公益信託久保記念点字図書援助基金	349,800	ICT 訓練のための機器購入費
埼玉県民共済生活協同組合	6,000,000	点字図書と録音図書の製作・貸出（視覚障害者の情報収集支援事業）
公益財団法人 J K A	2,555,000	月刊録音雑誌「医学研究」及び「ホームライフ」の製作・配布（障がいのある人が幸せに暮らせる社会を創る活動補助事業）
全国生活協同組合連合会	1,000,000	点字図書と録音図書の製作・貸出（視覚障害者の情報収集支援事業）
全国労働者共済生活協同組合連合会	1,000,000	点字図書と録音図書の製作・貸出（視覚障害者の情報収集支援事業）
全国ラジオチャリティミュージックソン実行委員会	1,000,000	録音図書のデジター編集作業費
公益財団法人鉄道弘済会	1,800,000	録音雑誌「ブックウェーブ」の製作・配布
一般財団法人日本児童教育振興財団	880,000	日本点字図書館創立 80 周年記念出版事業
一般財団法人日本宝くじ協会	2,500,000	点字図書と録音図書の製作・貸出
公益財団法人パブリックリソース財団	11,900	点字・録音図書製作のための原本購入費
公益財団法人一ツ橋綜合財団	5,000,000	録音図書「一ツ橋文庫」の製作・貸出
		マルチメディアデジター教材製作システム (ChattyInfty Online) の整備
		テキストデジター図書の製作・提供
株式会社文藝春秋	960,000	録音雑誌「文藝春秋」の製作・配布
社会福祉法人読売光と愛の事業団	767,960	専門対面リーディングサービス事業
		ロービジョンサービス事業
		録音図書製作のための複製機購入費

## ◆◆ チケット購入にご協力いただいた主な企業・団体のお名前 ◆◆

当館が主催したチャリティ映画会・チャリティコンサートのチケット購入にご協力いただいた主な企業・団体のお名前です。21 団体の皆様から、合計 271,500 円のご協力を頂戴しました。団体名は、当館ホームページにてもご覧いただけます。

団 体 名		(五十音順)
社会福祉法人NHK厚生文化事業団	公益財団法人鉄道弘済会	
大橋洋紙店	株式会社天賞堂	
株式会社偕成社	天理教東京教区まこと会	
株式会社サン・データセンター	東亜ディーケーケー株式会社	
公益財団法人社会福祉振興・試験センター	東京Iゾントクラブ	
株式会社新上	一般社団法人東洋はり医学会	
公益財団法人すこやか食生活協会	白泉寺	
株式会社西武洋紙店	一ツ目弁天会	
有限会社瀬川商店	フジケミ株式会社	
立川市朗読サークル「こえ」	公益財団法人毎日新聞東京社会事業団	
株式会社辻封筒印刷所		

## ◆◆ 当館主催のイベント等に協賛・広告掲載をいただいた企業 ◆◆

当館が主催したチャリティコンサートへの協賛、また当館発行機関誌「にってんフォーラム」に広告掲載のご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

イオンクレジットサービス株式会社、株式会社イオン銀行、國稀酒造株式会社、シノケンシ株式会社、三菱電機株式会社。

## ◆◆ 池田輝子基金事業のご報告 ◆◆

高田馬場の篤志家・故池田輝子氏から寄贈されたマンション2棟の家賃収入を録音図書を製作する池田輝子記念文庫製作事業及びアジアの若い視覚障害者の自立支援のためのパソコン技術を指導する池田輝子 ICT 奨学金事業に活用させていただいております。

### 1. 池田輝子記念文庫製作事業

スタジオ録音及びデジター編集により、48 タイトルの録音図書を製作しました。

### 2. 池田輝子 ICT 奨学金事業

2020 年度はコロナウィルスが世界的に蔓延していたため、開催場所のマレーシアへの入国のみならず、研修生たちが出国できないため開催を中止としました。世界的にコロナウィルスが終息に向かう様子がないため、2021 年度の開催について講師と検討を重ね、Zoom 等を使用した遠隔での研修ができる体制を考案し、卒業生を対象としたコースと中・上級者を対象としたコースを設定し、状況が改善されない場合は、遠隔講習を実施することにしました。

なお、2020 年度の ICT 予算については、法人の収益状況が厳しい状況であったため、池田家の承諾を得て、法人への繰入金とさせていただきます。

# 決算のあらまし

2020年4月1日から2021年3月31日

単位 (円)

事業活動による収支 (収入)	
障害福祉サービス事業収入	18,949,218
点字図書館事業収入	557,307,316
盲人用具販売事業収入	338,287,965
マンション経営事業収入	41,023,323
本部事業収入	2,962,900
経常経費寄附金収入	148,240,195
受取利息配当金収入	3,686,981
その他の収入	8,973,913
事業活動収入計 (1)	1,119,431,811
事業活動による収支 (支出)	
人件費支出 (法人負担分)	324,977,093
委託・補助金事業人件費支出	228,115,506
事業費支出	410,668,155
事務費支出	103,211,154
その他の支出	509,338
事業活動支出計 (2)	1,067,481,246
事業活動資金収支差額 (3=1-2)	51,950,565
施設整備等による収支 (収入)	
施設整備等補助金収入	349,800
施設整備等収入計 (4)	349,800
施設整備等による収支 (支出)	
設備資金借入金元金償還支出	2,009,800
固定資産取得支出	20,611,940
ファイナンス・リース債務の返済支出	4,599,888
施設整備等支出計 (5)	27,221,628
施設整備等資金収支差額 (6=4-5)	△ 26,871,828
その他の活動による収支 (収入)	
積立資産取崩収入	54,800,000
その他の活動による収入	742,301
その他の活動収入計 (7)	55,542,301
その他の活動による収支 (支出)	
積立資産支出	74,000,200
その他の活動による支出	3,195,960
その他の活動支出計 (8)	77,196,160
その他の活動資金収支差額 (9=7-8)	△ 21,653,859
当期資金収支差額合計 (10=3+6+9)	3,424,878
前期末支払資金残高 (11)	100,274,432
当期末支払資金残高 (10+11)	103,699,310

# 日本点字図書館のあゆみ

1940 (昭和15) 年	全盲の青年 本間一夫が日本盲人図書館（現在の社会福祉法人日本点字図書館）を創立 蔵書700冊
1945 (昭和20) 年	戦災により本館焼失 貸出は疎開先で継続
1948 (昭和23) 年	焼け跡に仮建築で再出発 日本点字図書館に改称
1952 (昭和27) 年	社会福祉法人となる
1953 (昭和28) 年	本間一夫が朝日社会奉仕賞受賞
1954 (昭和29) 年	厚生省から点字図書製作事業の委託を受ける
1958 (昭和33) 年	声のライブラリー発足 テープ50巻、レコーダ1台
1960 (昭和35) 年	「中途失明者のための点字教室」を開始
1966 (昭和41) 年	視覚障害者用生活用具の開発と普及事業を開始
1976 (昭和51) 年	声の図書の「カセットテープ化」を開始
1989 (平成元) 年	厚生大臣特別表彰（身体障害者福祉功労団体）を受賞
1991 (平成3) 年	パソコン点訳者養成事業開始
1994 (平成6) 年	アジア盲人図書館協力事業開始
1996 (平成8) 年	専門対面リーディングサービス開始
1998 (平成10) 年	国費による新別館完成 皇后陛下ご臨席のもと新館披露の式典開催
1999 (平成11) 年	デジタル録音図書（CD図書）の製作・貸出開始
2003 (平成15) 年	本間一夫と日本点字図書館が、第10回井上靖文化賞を受賞 ロービジョンサポート事業開始 創立者本間一夫他界（享年87歳）
2004 (平成16) 年	録音図書ネットワーク配信サービス「びぶりおネット」開始
2005 (平成17) 年	ユニバーサルデザイン推進室（UDラボ）設置 録音図書ネットワーク製作システム（びぶりお工房）開始
2007 (平成19) 年	アジア太平洋障害者の10年の中間年記念 内閣総理大臣表彰受賞
2008 (平成20) 年	チャリティコンサートに皇后陛下のご臨席を賜る
2009 (平成21) 年	CD雑誌「にってんデイジーマガジン」創刊
2010 (平成22) 年	視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」開始 「日点みんなの集い」に皇后陛下のご臨席を賜る
2011 (平成23) 年	カセットテープによる録音図書サービスを終了
2014 (平成26) 年	川崎市視覚障害者情報文化センターの管理運営開始
2015 (平成27) 年	塙保己一賞貢献賞受賞
2017 (平成29) 年	指定特定相談支援事業および自立訓練（機能訓練）事業を開始
2018 (平成30) 年	日本点字図書館附属池田輝子記念ふれる博物館開設
2020 (令和2) 年	著作権法における図書館資料の複製が認められる施設に指定される

## 役 員

理事長	田中 徹二
常務理事	長岡 英司 館長
同	伊藤 宣真 本部長
理事	芦田 真吾 東京都医師国民健康保険組合事務局長
同	岡本 厚 前(株)岩波書店代表取締役社長
同	河 幹夫 (社福)日本心身障害児協会理事長
同	立花 明彦 静岡県立大学短期大学部教授
同	田中 敏雄 (社福)東京都福祉事業協会理事長
同	花島 弘 前(公財)ダスキン愛の輪基金評議員
同	三田 誠広 作家・(公社)日本文藝家協会副理事長
監事	野田 聖子 弁護士
同	君島 淳二 (公財)日本障害者リハビリテーション協会常務理事

## 評 議 員

新井 直弘	樽松 武男	福島 智	渡邊 岳
石橋 迪子	迫田 朋子	星川 安之	和波 孝禧
大胡田 誠	高橋 秀治	本間 一明	
加藤真由美	富田 清邦	増渕 路子	

後援会長 阿刀田 高 (作家)



社会福祉法人 日本点字図書館

〒169-8586 東京都新宿区高田馬場1-23-4

電話 (03) 3209 - 0241 (代表) FAX (03) 3204 - 5641

ホームページ <https://www.nittento.or.jp/> Eメール [nitten@nittento.or.jp](mailto:nitten@nittento.or.jp)

ゆうちょ銀行振替口座 一 般：00160 - 2 - 100288

取引銀行及び普通預金口座番号

みずほ銀行 高田馬場支店 普通 2855735

三井住友銀行 高田馬場支店 普通 92380

三菱UFJ銀行 高田馬場駅前支店 普通 167456

口座名：社会福祉法人 日本点字図書館 フリガナ：フク)ニッポンテンジトシヨカン

インターネットからもご寄付いただけます

で検索

(敬称は省略させていただきます)